

支部協より ちゃーがんどゆう

第225号

発行所
NTT労働退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-1
NTT城間ビル7F
TEL.098-870-7101
FAX.098-875-7450
責任者
会長 金城 章

新年のあいさつ



今年(タツ)年、幸運
がタツよう願っています

退職者の会 沖縄県支部協議会
会長 金城 章

明けましておめでとう
ございます。

昨年は、4年振りに定期総
会を対面方式で開催いたしま
した。あらためてコミュニケーション
シオンを図ることが重要だと
思いました。ありがとうございます
でした。

国外では、ウクライナ、パ
レスチナの紛争が泥沼化して、
多くの民間人、とりわけ多く
の子供たちが犠牲となってい
ます。惨い戦は早くやめても
らいたいと願っています。

国内では岸田政権は防衛費
の増大、社会保障費の削減を
行おうとしています。私たち
は到底認めることはできませ
ん。今や裏金問題や政務三役
の不祥事などで大きく揺らい
でいます。

県内では、辺野古新基地建
設の反対運動が厳しい局面を
迎えています。私たちは玉城

デニー知事を支え、粘り強く
闘う必要があります。そのた
めには、6月の沖縄県議会議
選で勝利しなければなりません。
会員の皆さんのご支援と
ご協力をよろしく願ってい
ます。また与那国島、石垣
島、宮古島、うるま市にミサ
イル基地を配備し沖縄県が軍



私たちの1票で未来を拓こう

NTT労働退職者グループ連絡会
会長 比嘉 敏勝

退職者の会会員・ご家族の皆
さま、新年おめでとうございます

昨年は、新型コロナウイルス
感染症が5類へ移行され、
コロナ禍前の組織活動・経済
活動に戻りつつありました。
NTT労働組においても各種活
動について感染対策を講じた

重要実化されようとしていま
す。私たちは再び沖縄県を戦
場にすることはできません。
さて退職者の会では、会員
皆様とのコミュニケーション作
りを取り組みとして今年はい
イベント開催、お元気コール、
ホームページ開設、また全国
的に取組んでいる「緊急連絡
先」の把握に努めていくこと
といたします。
今年(タツ)年、皆様へ
幸運がタツよう願っています。



から、関係各位の皆さまのご
協力のもと行なっておりま
した。感謝申し上げます。
さて、昨年はWBC(ワー
ルドベースボールクラシック)
で日本が米国を破り優勝、県
内ではFIBAワールドカップ
(バスケットボール)が開催
され、今年のオリンピック出



場権を自力で獲得するなど、
めざましい活躍がありました。
一方で、宮古島周辺での陸
自への墜落や鹿児島屋久島
沖で米軍オスプレイが墜落、
普天間飛行場の辺野古移設を
めぐる訴訟(設計変更申請を
承認しない県に対する「是正
の指示」)において、最高裁が
沖縄県の主張を退け、敗訴が
確定するなど、日本国内・県
民の生命・財産が脅かされま
した。また、政治と金の問題
や円安、原油・穀物高などに
よる物価上昇で私たちの生活
は益々厳しくなっています。
2024年は、衆議院解散
が想定されることから、私た
ち勤労者・生活者・納税者の
立場に立った議員を多く国会
に送り込み、自民党の暴走に
歯止めをかけなくてはなりま
せん。また、6月には県議会
議員選挙が実施されます。私
たちの1票で玉城デニー知事
を支える議員の議席を増や
し、沖縄県知事を二緒に支え
ていきましょう。
年初にあたり、退職者の会
会員・ご家族の皆さまのご健
勝とご多幸を祈念申し上げ、
ご挨拶と致します。

北部地区協議会



会長
神山 正樹

新年明けまして
おめでとうございます。

昨年(タツ)年、新型コロナウイルス
感染症が5類となったこと
でグラウンドゴルフ大会が開
催できたこと、さらに4年ぶ
りとなる北部地区協議会第21
回定期総会が開催することが
できました。定期総会の終了
後に行われた懇親会では、久々
の対面方式で県支部協議会及
び労働退職者グループ連絡会
からも参加していただき、中
で、先輩方が懐かしく会話を
楽しんでいるのが印象的でした。
今年も北部地区協議会会員
約100名の皆様の協力のも
とに活動ができることを期待
するとともに県支部協議会及
び労働退職者グループ連絡会
のご指導・ご協力をいただき
ながら会員相互の親睦と交流
を深めていきたいと思いま
す。
NTT労働退職者の会、会
員の皆様の益々のご健康とご
多幸を祈念申し上げます。
今年1年間、皆様とご家族
のご健康とご多幸、そしてウ
クライナ、ガザ地区の戦争が停
戦し、全世界が平和で平穏に
なることを祈ります。



八重山地区協議会



会長
白道 直行

新年おめでとう
ございます。

2023年、八重山では平
相を脅かす色んな出来事があ
りました。
3月16日、陸上自衛隊石垣
駐屯地開設、2日後にミサイ
ルなど弾薬の搬入。9月7日
に米海軍掃海艦「バイオニア」
が石垣港に入港、10月7日に
は駐屯地を一般に開放して子
供たちに戦争の疑似体験をさ
せています。
六月に「慰霊の日」を設け
英霊を慰め、そして「子供た
ちを二度と戦場に送らない」
と誓ったあの思いはどこに消
えたのでしょうか。
ロシアのウクライナ侵攻を
引き合いに台湾の有事を想定
した沖縄・南西諸島の軍事機
能強化。しかし、あの悲惨な
戦争を体験した私達・沖縄県
民は「平和を前面に万国津梁
を図る」という鐘を鳴らし続
けなければいけないと思う。
後悔せぬよう黙してはなら
ない。2024年、熱い年に
したい。



